

2024（令和6）年度 社会連携・社会貢献活動  
～社会貢献～

社会連携・社会貢献の方針	取り組み期間・期日	連携先	取り組み名／公的機関の委嘱／専修大学が参加している事業名	概要
4. 社会貢献	2022年～2024年		公益財団法人租税資料館理事長としての活動及びTKC全国会【税理士会】の顧問としての活動	公益財団法人 租税資料館 理事長として我が国の租税法研究者の育成と文献収集に注力している。 また、税理士会のTKC全国会の顧問として税理士会の発展に注力している。
4. 社会貢献	2022年11月1日～2024年10月31日 2024年11月1日～2026年10月31日		目黒区情報公開・個人情報保護審議会	2022年11月1日～2024年10月31日第18期委員・会長 2024年11月1日～2026年10月31日第19期委員・会長
4. 社会貢献	2023年9月21日 ～2025年9月20日		目黒区入札監視等委員会委員	第10期委員・委員長
4. 社会貢献	2024年11月～12月		ラグビー教室の実施	《目的》：伊勢原市と専修大学の「スポーツ推進・健康増進に関する協定」に基づき、伊勢原市内にある小学校にてラグビー教室を実施。ラグビー教室を通じてチームスポーツの素晴らしさや身体を動かすことの楽しさを感じてもらおうと同時に伊勢原市において専修大学を認知してもらい、ブランド力を高める機会とする。 《2024（令和6）年度活動実績》：7教室実施（525名）
4. 社会貢献	2024年4月～		試験委員会 委員	証券アナリスト資格の試験問題の作成等
4. 社会貢献	2024年4月～2025年3月		キャリアコンサルタント技能検定試験委員	試験委員として作問などを実施
4. 社会貢献	2024年6月～2025年2月		ワンデーチームメイトの実施	《目的》：【川崎市教育委員会連携事業】専修大学体育会地域貢献活動の一環であるワンデーチームメイトを実施し、スポーツ教室を通じて大学生のスピード・パワー・テクニックを子どもたちに伝授すると同時に専修大学を認知してもらい、ブランド力を高める機会とする。 《2024（令和6）年度活動実績》： 6月28日 相撲教室（34名） 7月7日 ヨット教室（3名） 7月13日 水泳教室（4名） 7月13日 剣道教室（31名） 7月13日 合気道教室（3名） 7月27～28日 ソアーズカップ（400名） 7月28日 アメリカンフットボール教室（63名） 8月3日 空手教室（3名） 9月16日 山岳体験教室（7名） 11月16日 水球教室（24名） 12月24日 バドミントン強化練習会（78名） 1月19日 野球・ラグビー教室（100名） 1月25日 ランニング教室（60名） 2月12日 相撲教室（80名）
4. 社会貢献	2024年度		川崎市男女平等推進審議会	年10回ほどある審議会の副会長として、第6期川崎市男女平等推進行動計画の策定についての答申をまとめた。
4. 社会貢献	2024年度		葛飾区男女平等推進審議会	年数回ある審議会の委員として、葛飾区の男女平等に関する施策について審議した。
4. 社会貢献	通年	川崎市	かわさきSDGsパートナー	SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて取り組む企業・団体の皆様が川崎市が認証する制度
4. 社会貢献	通年		改訂版 開花季節で調べる 生田緑地の草本植物の頒布	生田キャンパスに隣接する生田緑地の草本植物について、自然科学研究所報86号に掲載したところ一般住民から好評を頂き、平成21,22年に本学で開催された「教員免許講習」でも小中学校の先生から頒布希望者が多かったことから、増刷を行い、希望者に頒布している。URL： <a href="https://www.senshu-u.ac.jp/research/center/shizenkagaku/album/">https://www.senshu-u.ac.jp/research/center/shizenkagaku/album/</a>
4. 社会貢献	2024年7月6日		クリーンタウンの実施	《目的》：NPO法人多摩川エコミュージアムおよび体育会本部との連携をはかり、体育会による清掃活動を行うことで専修大学の社会貢献活動の一助とする。 《2024（令和6）年度活動実績》：学生168名・本部8名・教職員4名・一般約50名 合計230名
4. 社会貢献	2024年7月13日		公開講演会	「現代暗号と量子暗号 ―Einstein's legacy」というタイトルで、水崎高浩所員が講演を行った。
4. 社会貢献	2025年3月		新装版 開花季節で調べる 生田緑地の草本植物の刊行	生田キャンパスに隣接する生田緑地の草本植物について、これまで「改訂版 開花季節で調べる 生田緑地の草本植物」を増刷・頒布していたが、別冊であった木本植物編の内容もまとめて1冊の新装版として刊行した。今後は希望者に新装版を頒布する予定である。